

木材建材業界の“今”を知る

建材マンスリー

The KENZA Monthly

November
2010
No.542

11



特集

安心・安全な「高齢者の住まい」研究



For The Future

矢口 盛明さん

FRONT RUNNER

伊藤工機株式会社

+Biz Topics

News pick up! 業界ニュース

建材マンスリー資料室



「高齢者の住まい」研究

日本はいまだかつてない少子高齢社会に突入しました。急激な人口減少に歯止めをかけるため、国は少子化問題対策を急いでいますが、一方の高齢化問題についても深刻です。今年8月、国土交通省は平成23年度予算概算要求を発表。政府の「新成長戦略」に盛り込まれている「医療・介護と連携したサービス付き高齢者住宅の供給促進」を実現のため、今年度当初予算の約2.2倍の350億円を要求しました。高齢者が安心して住み続けられる住まいへのニーズは、今後急速に拡大していくことが予想されます。今回の特集では、高齢者住宅の住まいの現状や、介護現場の建材に関するニーズ、実際の施工事例などについて紹介。木材建材業界の市場拡大チャンスはどこにあるのか、多面的に探ります。

Chapter 1 住宅ジャーナリストに聞く 高齢者向け 住宅ビジネスの 現状と展望

高齢者向け住宅ビジネスの現状、今後の展望について、住宅ジャーナリストの櫻井幸雄氏にインタビュー。ご家庭における介護経験を交えて語っていただきました。

市場の拡大に備えて、 今からノウハウの蓄積を



櫻井幸雄氏
住宅ジャーナリスト

介護する側、される側が
納得できる住まいを

「一口に「高齢者向けの住まい」といってもさまざまですがどのよう
に分類できますか。」

大きく「施設型」と「在宅型」
の二つに分けることができます。

「施設型」は、さらに「公共型」と
「民間型」に分類でき（左ページ上
の表参照）、特に最近増えつつあるの
は、住宅型有料老人ホームや、高齢
者専用賃貸住宅等、前述の「総量
規制」の対象外であるタイプです。

「在宅型」は、今まで住み続けてき
た家に介護対応のリフォームを施し
たり、新築の家に将来を見据えて介
護対応の設備を施すタイプです。

「設計や設備等の面では、最近
どのような傾向がありますか。」

共通して言えるのは、「居住性」
の高さがますます重視されるように
なっていることです。昔は、高齢者を
介護する場所は、イコール「施設」
として考えられていましたが、最近
は「住まい」としてのニーズが増加し
ています。例えば施設型の高齢者向け
の住まいに関しては、家族に決定権
がある場合が多いので、本人や家族に
「ここに入りたい」と思っていただけ
の居室にしなければ、民間では経営
が成り立ちません。そのため、普通
の住宅と同じように無垢のフローリ
ングにするケースも増えてきていま
す。もちろん、介護される側である
高齢者の方々も、できるだけ今まで
の住まいと同じように住みたいと考

「今後住関連事業者として取り
組むべきポイントは何でしょうか。」

少子高齢化等を背景に新築住宅
の需要は低減していますが、この分
野はビジネスとしても今後確実に
拡大するでしょう。ポイントはやは
り、介護する側、される側の「心理」
への理解です。そのためには実際に
介護をするのが一番の近道だと思
いますが、機会のない人は、介護体験
のある人の話を聞いて情報を集める
だけでも、提案の幅は広がります。
建設会社をサポートする流通関連
の事業者も、そういった情報をまと
めて工務店やビルダーと共有するだ
けでも、信頼度は高まります。

「60代前後の方々はまだまだ
元気ですから、リフォーム需要が高
いとはいっても、限られた予算の中
で、「将来に備えて介護改修してお
こう」という方はまだ少数派でしょ
う。住宅型有料老人ホームや高齢
者専用賃貸住宅も、これから本格的
にニーズが高まっていく段階である
ため、「必要に迫られてから準備を
しよう」と考えている住関連事業者
の皆さんも多いと思います。しかし、
それではいざというときに大切なビ
ジネスチャンスを失ってしまうでしょ
う。国でも介護保険制度の改革が
取り組まれており、今後高齢者介護
にかかる費用等、不透明な部分もあ
りますが、一方で、市場としての拡張
は間違いないことですから、今のうち
から先行的にノウハウを蓄積してお
くことで、需要のキャッチアップはも
ちろん、総合的なリフォーム受注に
も繋がるのではないかと思います。」

要介護認定者数は
年々増加傾向

政府の「新成長戦略」には重点
施策として「高齢者が安心して住
み続けられる住まいの確保」が大項
目の一つとして掲げられています。こ
の動きは業界としてどのようにと
らえることができますか。

「新成長戦略」では、「バリアフリー
性能が優れた住宅取得や、バリアフ
リー改修促進のための支援を充実
するとともに、民間事業者等による
高齢者向けのバリアフリー化された
賃貸住宅の供給促進等に重点的に
取り組む」と宣言しています。つまり、
「高齢者介護は民間主体で進める
こと」という政府の宣言だと見え
ざるを得ません。

要介護認定者数は年々増加傾向
にあります。（グラフ1参照）。夫婦
のどちらかが元気なうちは相手を
介護できますが、いつまでも面倒を
えている人が多いので、居住性の高
さが求められるようになるのは当然
だと思います。

「高齢者住宅の設計施工やリ
フォームで特に重視すべきことは何
でしょうか。」

介護される側である高齢者の居
住性を確保するとともに、介護する
側の家族の要望も聞き、両者が納得
できる住宅を目指すことです。

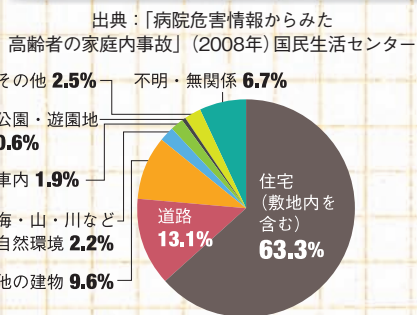
介護リフォームというと、「バリア
フリー改修」や「手すりの取り
付け」といった、目に見えるものを
イメージしますが、実は大切なのが
「におい」と「音」の問題です。

においに関しては、元気な頃と比
べてどうしてもこまめにお風呂に入
れなかつたり、昔よりも肌の乾燥を
気にして石鹸を使わなくなると、ど
うしても気になるものです。実は、
私も義母を自宅で介護しているの
です。一番大変なのが「入浴」です。
ケースによっては、デイケアサビ
ス等の力を借りないと難しいこともあ
るでしょう。介護される立場として
も、身体的な快適度はともかく、心
理的・精神的に苦痛を伴います。我
が家でも重宝として、介護リフォー
ム提案の例として挙げられるのが、
「ミストサウナ」です。汗腺の老廃物
を取り除いてくれる上、肌が乾燥し
にくく、後で体を拭くだけにおい
を防ぐことができ、介護向けの設備
として注目です。そもそも癒しや健
康志向の高まりからミストサウナは
注目を集めていますから、介護対応
だけではなく快適環境を訴求する
リフォームプランとして提案できる

介護体験や情報収集で
信頼度を高める

「音」についても意外と重要な問
題です。高齢者はどうしても聴力
が低下してしまつたため、家族にとつ
てテレビの音の大きさが気になるこ
とがあります。また、深夜にトイレに
起きることが多くなり、水を流す音
で毎晩家族が起きてしまつという
話もよく聞きます。家族に受験生が
いると勉強に支障も出るということ
もあります。しかし、だからといつて
短絡的にドア等に遮音性を高めるリ
フォームを施すということは禁物で
す。「転倒する」「悲鳴を上げる」等、
「もしも」の際のSOSの音をも遮つ
てしまつ恐れがあるからです。そう
いった場合は、リフォームのタイミン
グで間取り自体を見直し、例えば介
護される人は1階に、受験生の子ど
もは2階に部屋を配置し、なるべく
距離を離す等、高齢者の「感覚機
能」や「生理機能」といった目に見
えない要素をしっかり見据えた、配
慮がまず必要ではないでしょうか。

グラフ2 高齢者の事故発生場所



グラフ1 要介護認定者数の推移



高齢者向けの住まい一覧 (一部)

公共型

施設の種類	概要
特別養護老人ホーム	身体または精神に障害があり常時介護が必要なものの居宅介護が受けられない状況にある高齢者が対象。
介護型老人保健施設	病院を退院した後、リハビリが必要な要介護者が対象。
介護療養型医療施設	長期療養が必要な要介護者が対象。

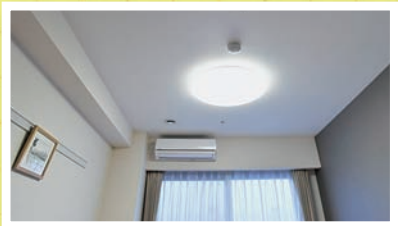
民間型

施設の種類	概要
介護付有料老人ホーム	食事や清掃から介護サービスまで、すべてを施設のスタッフが提供。介護保険の認定あり。
住宅型有料老人ホーム	施設スタッフが提供するの食事サービスと、日常生活支援のみ。介護保険の認定なし。
高齢者専用賃貸住宅	高齢者または同居の配偶者を賃借人とする賃貸住宅。「高齢者専用」以外には特に規定はない。

グランフォレスト椎名町に見る
高齢者向け住宅設備の工夫とは？

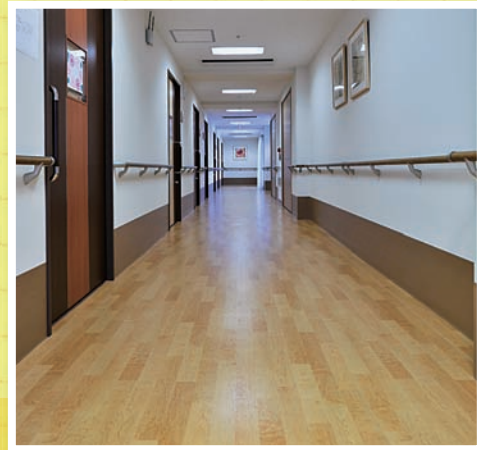
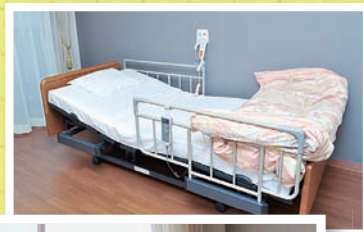
天井

現在は白いシート張り。要介護度の高いご入居者は寝ていることが多く、天井を目にする時間が長いので、天井の素材を今後工夫したいですね。昔の日本の家は、天井も板張りが多かったので、木質感のある素材も検討してみたいと思います。(青木)



ベッド

パラマウントベッド株式会社との共同開発によるオリジナル製品。よく見かける無機質なベッドではなく、ヘッドボード、フットボードにも木を使用することで、部屋全体が落ち着いた印象になりました。(能登)



廊下

エントランスのある1階の廊下は無垢のフローリング、居室のある2、3階の廊下はクッションフロアに。廊下の壁の両側には木製の手すりを取り付けて、安全性を考慮しました。(山下)

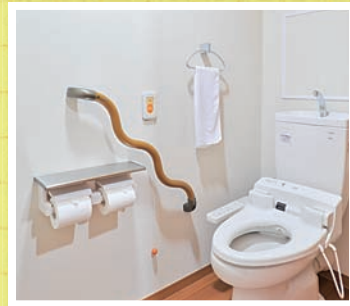
手すり

やはり木製の手すりは「木のぬくもりが温かい」とご入居者に好評です。取り付け位置は、通常の標準位置よりも少し低めの73cmにしています。(山下)



コーナーガード

ご入居者が怪我をしないように、廊下の各コーナーに設置。手すりと合わせて、木質感のあるデザインのものを選びました。(青木)



トイレ

車いすで入るのに必要なスペースを確保。ポイントは「広すぎてもだめ」ということ。利用者は寄りかかれなくなるからです。介護する側も入れる適度な広さに。配管の構造上の問題もありますが、今後はご入居者一人ひとりに合わせたつくりにすることを検討していきたいです。(能登)

居室

わざわざ照明をON・OFFしなくても済むように、人感センサーの照明を設置しています。(山下)



浴室

浴室では転倒しやすいので、手すりは欠かせません。右手と左手、どちらでも使いやすいように、鏡の両側に設置しています。(能登)



ドア (居室)

エントランスのドアと同系色で統一。居室のドアは、入居者にとっては玄関であり、住まいの顔。居室のドアは、今後はもっと木質感があって家庭的なデザインにすることも検討していきたいと考えています。(青木)



玄関ホール

建物に入って、最初の印象は大切。無垢のフローリングにするだけでなく、インテリアにも木製品を取り入れました。見学者の方々にも好印象です。(山下)



食堂

無垢のフローリングにして家庭的な雰囲気を重視。インテリアコーディネーターのアドバイスで、イスの色を交互にしてメリハリをつけたところ、明るい印象に。高齢者向けというと、とかくモノトーンな雰囲気になりがち。一般的な老人ホームではあまり見かけないコーディネートですが、色のチョイス一つで空気も住まう人の心も変わります。(青木)

Chapter 2
老人ホーム運営スタッフに聞く
介護現場で求められる
高齢者の住まいとは

介護現場では、実際にどのような住宅設備が求められているのでしょうか。Chapter2では、住友林業のグループ会社、株式会社フィルケアが運営する介護付有料老人ホーム「グランフォレスト椎名町」から、介護する側、介護される側、それぞれの視点でレポートします。

高齢者には馴染み深い
「木質感」のある住まい

山下 俊一
グランフォレスト椎名町
施設長



青木 浩
株式会社フィルケア
開発営業本部
次長 (開発担当)



能登 康彰
株式会社フィルケア
総務本部 業務課



「木のぬくもり」を大切にしたい住まいに

施設としてのコンセプトは何か。

「家庭的な環境」を目指しています。高齢者の多くは、何十年も暮らしてきた自宅に愛着をもっているしやいます。年代的に、住み慣れた家木造である場合が多いので、細部にわたり「木のぬくもり」を大切にしたいつくりを心掛けました。特に、毎日使う居室、食堂、玄関ホールに關しては、木質感を意識して仕上げています。食堂の床は、「住友林業の家」で採用されている、味わいのある無垢のオーク材を使ったフローリングです。共有の廊下は、転倒しても衝撃が少ないクッションフロアを採用。木質感を大切にしながらも、機能面、コスト面とのバランスを両立しています。一般的に、こういった施設は「建てる側」「運営する側」の視点で優先されるケースが多かったのではないかと思います。私たちは極力「住む側」のことを考えて居住性を重視しています。

介護する側のことも考えた設備に

ご入居者やご家族からの意見はありますか。

ご入居者の中には、判断力が弱くなっている方もいらっしゃるの、どこに入居するか」の決定権はご家族にある場合が多いです。そのため、見学にいらしたご家族からはよくこ

意見をいただきます。特に女性には「木を使った内装はホッとすると好評です。入居前、入院されていた方のご家族からは「家庭的な雰囲気であ安心」と喜んでいただけました。

ケアスタッフからはどのような意見がありますか。

他の老人ホームで働いていたケアスタッフも多くいますが、「廊下のクッションフロアは初めて」という声をよく聞きます。下地が柔らかく腰への負担が少ないので、ご入居者だけでなくケアスタッフにも喜ばれます。介護する側の負担もしっかりと考慮する必要があると思います。

オーダーメイドに近い住まいを目指して

今後の課題は何でしょうか。

すぐには難しいですが、ご入居者に応じて「手すりの配置」や「トイレの向き」等を変更できるようにしていきたいです。現在も、必要に応じて手すりを付けることはありますが、たいの施設の設備は一般的な高齢者に合わせて標準化されています。オーダーメイドでご入居者に合わせた建材を適切な配置で取り付けられれば、より快適に過ごしていただけるはずで

その点、戸建ての場合は、介護する側、される側両方の意見を直接聞いてオーダーメイドが可能のため、高齢者一人ひとりに適した住まいが作りやすいのではないのでしょうか。また、「香り」を活かした高齢者の

住まいも研究していきたいです。介護分野では「消臭」の発想はあっても、「香り」を活かす「発想はあまりありません。認知症の療法として、思い出話をしたり、慣れ親しんだ香りをかいたりして、昔を思い出してもらい「回想法」と呼ばれる心理療法があります。香りには人の記憶を呼び起こす力があります。例えば、木を使った建材の香りで、昔の家のことを思い出してもらい、より元気になるっていただく住まいづくりができるかもしれません。木は、見た目、手触り、香り等の観点から、高齢者の住まいにもっと役立てられると思います。

介護の現場に「ベター」はあっても「ベスト」はありません。要介護度や、今まで暮らしてきた環境等に応じて、人それぞれの「ベスト」は違うからです。今後は、高齢者が安心して暮らせる住まいとは何なのか、追求していきたいと考えています。

入居者募集中

介護付有料老人ホーム
「グランフォレスト椎名町」

住所：東京都豊島区
南長崎2-19-7
(西武池袋線椎名町駅
南口より徒歩4分)
開設：平成22年5月1日
面積：敷地 / 876.23㎡
延床 / 1,425.4㎡ (地上3階建)
総居室数：30室 (全室介護居室 / 個室30室)
お問い合わせ先：株式会社フィルケア 入居相談室
TEL 0120-546-366
http://www.fillcare.co.jp



寝室のすぐ横に増設されたトイレ



甲田 直己氏

甲田建築事務所代表・
一級建築士

Chapter 3

設計事務所に聞く

高齢者が安心して暮らせる住まいとは？

ご自宅を介護対応にリフォームされた甲田建築事務所代表の甲田直己さんに、高齢者が安心して暮らすことができる住宅について、施主、建築士の両方の視点からお話を伺いました。

経験したからこそ分かる 介護対応のリフォーム

「ご自宅を介護対応にリフォームされたきっかけとその内容をお聞かせください。」

私の家には、伯母と先日亡くなった母が同居していたのですが、二人とも支えがなければ歩くことが不自由で、寝室から約8m離れたトイレに行くのも日々難儀していました。そのため、寝室横の廊下のスペースにトイレを増築しました。トイレのドアは、介護の際、双方に負担が少ないように思い切って取り外し、カーテンで仕切っています。

高齢者にとって排泄の問題は尊厳にもかかわる非常に重要なポイントです。トイレまでの距離が短ければ、自力でトイレに行き続けることができますし、途中で転倒し骨折してしまふ可能性も低くなります。骨折すれば、それをきっかけに寝たきりになってしまい、おむつのお世話になってしまいます。母たちも「助かったわ」と喜んでくれました。トイレの増築は配管が絡むため費用がかかりますが、非常に意味のあることだと思います。

あと、「ケアマネージャー(※)」さんの存在は大きかったですね。アドバースにより、廊下の両脇に手すりをつけ、部屋内にも天井と床で固定するポールや自立型の手すりを設置しました。またこいつら機器のレンタルがあることも今回初めて知りましたね。

介護対応のリフォームで考慮しておくべき点は何ですか。

歩行が困難になった高齢者にとっては、ほんの1センチの段差や手すりや壁のすきままでさえ、事故の原因になります。高齢者が安心して暮らせる家を作るためには、健全な私たちには想定し得ないような細かいことまで考慮しなければならぬということを実感しています。

日頃、施主様からは老後に安心して暮らすためにどのようなニーズがありますか。

車椅子で生活可能な広い廊下やバリアフリーです。廊下の幅は、両側に手すりをつけ車椅子が通れるようにするのに、私の経験では柱芯と柱芯で少なくとも1,040mm必要です。「手すりの設置」や「廊下幅の拡張」は住宅エコポイント制度の対象になる等、介護リフォームにはさまざまな助成制度があります(下記「介護・バリアフリーリフォーム関連の各種助成制度」参照)。費用が掛かることですから、できれば新築の段階から考慮したほうがよいでしょう。その他、トイレや浴室もヘルパーさんと一緒に入るための介護スペースを確保する必要があります。

また、温水洗浄便座やHヒーター等の設備を後から導入しようと思っても、高齢になってからでは「使いこなすこと」が難しいという物理的な部分以外での実情も認識しておくべきではないでしょうか。

プロの視点を取り入れ、潜在的なニーズを満たしていく

「高齢者住宅を取り巻く現状に対するご意見はありますか。」

例えば介護のために住宅を改修する場合、改修費用20万円を上限として9割が介護保険から支給されますが、その適用範囲は非常に限定されています。トイレについては、和式便器を洋式便器に変える場合は適用されますが、今回の様な増築の場合は、介護対応という同じ目的であっても一切適用されません。高齢者にとって本当に快適な住まいとは何か。その全体の視点を踏まえた範囲に広げていけば良いと思います。

介護対応のリフォームについて、課題をお聞かせください。

介護のためのリフォームは切実な問題であり、確実に需要が増えていく分野です。しかし、多くの設計事務所は経験が少なく、情報交換の機会もありません。多くの高齢者にとっては「できれば慣れ親しんだ自宅で暮らしたい」というのが本音のはずです。お客様の潜在的なニーズを満たす提案をしていくためにも、ノウハウを持ち寄り、ケアマネージャーや福祉住環境コーディネーターといった介護のプロの視点も交えたネットワーク作りを進めていきたいと思えます。

介護・バリアフリーリフォーム関連の各種助成制度

住宅エコポイント制度

エコリフォームと一体的に行う以下のバリアフリー改修も対象となっています。

- 手すりの設置(浴室、トイレ、洗面所、居室、廊下、階段) **5,000ポイント**
- 段差解消(玄関、勝手口、浴室、屋内) **5,000ポイント**
- 通路幅などの拡張(通路、出入口) **25,000ポイント**

住宅エコポイント公式HP
<http://jutaku.eco-points.jp/>

介護保険による住宅改修

要介護者等の介護のための住宅改修は、以下の場合において介護保険の支給対象となります。

- 手すりの取り付け
- 段差の解消
- 滑りの防止、及び移動の円滑化のための床または通路面の材料の変更
- 引き戸などへの扉の取り換え
- 洋式便器などへの便器の取り換え 等

支給限定基準額(20万円)の9割(18万円)が上限。詳細は、必ず各市区町村のHP等でご確認ください。

高齢者向け返済特例制度

(住宅金融支援機構のリフォーム融資)

満60歳以上の高齢者が居住する住宅にバリアフリー、または耐震リフォームを行う場合、高齢者住宅財団が連帯保証人となり、毎月の返済は利息のみ、元金は債務者死亡時に一括返済する制度。

住宅金融支援機構HP
<http://www.jhf.go.jp/>

地方自治体による助成制度

バリアフリーのリフォームについては、自治体によっては「高齢者住宅整備資金貸付」等の名称での助成や補助金制度を設けているところがあります。詳細は、市区町村の窓口等にご相談ください。

優遇税制

一定のバリアフリー改修を実施すると、固定資産税の減額(当該家屋に係る翌年度分の税額を100㎡相当分まで1/3を減額)や所得税減税等の優遇税制を受けることが可能です。

※対象工事内容や費用等について一定の条件があります。詳細は、(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターが運営する下記のHPを参照ください。

リフォーム支援ネット「リフォネット」
<http://www.refonet.jp/>

※介護が必要な方に最適なケアプランを立て、介護サービス実施後のチェック・見直しを行う専門家。

多くの人に、日本の木の家と
上手に向き合う方法を伝えたい

株式会社鈴木工務店
統括ジェネラルマネージャー

矢口 盛明さん

千葉県出身。2000年、株式会社地域開発研究所に入社。建設コンサルタント業に従事する。2005年、株式会社鈴木工務店に入社。土木工事の管理や営業を担当。鈴木工務店は、イノスグループ会員企業でもあり、積極的な現場見学会の開催など“地域との繋がり”を大切にしたい取り組みを展開中。ちなみに、矢口さんは5歳の長男、2歳の次男のパパ。大好きなガンダムのアニメと一緒に見るのが何よりの楽しみ。



創

業は、新撰組が活躍していた文久年間——。矢口さんは代々続く鈴木工務店の長男として誕生した。周囲の期待に反して、夢は考古学者。大学院では土木に関する歴史を研究し、卒業後も歴史的資料をひも解き、調査する仕事に就いた。ただ、好きなことを仕事にできた喜びとは裏腹に、いつも心の片隅にあったのは「長男として、いつかは家の仕事を手伝わないと」という使命感。それを振り切るかのように、結婚して名字を「鈴木」から「矢口」に変えてみた。しかし、「責任」の二文字は消えることはなかった。

就

職して5年後、ついにその使命を果たそうと、矢口さんは家業を手伝う決意をした。仕事は土木工事の管理。数々の工事をこなしてきたベテラン作業員たちと、対等に仕事していかなければならない。しかし、矢口さんは分からないながらも、現場に馴染むのに時間はかからなかった。「現場は、小さな頃から当たり前のように触れてきた世界。無

意識のうちに体に染みこんでいたのですね。」

営

業にも携わった。ここでは前職で培った、歴史の知識が役立つ。「昔の街の様子、地名の由来、河川の変遷など、地域の歴史を説明すると、施主様も信頼してください。その土地を知っている人に家を建ててほしいという想いがあるんでしょね」。確かに、歴史研究は自分のやりたい仕事だったし、ずっと続けていくつもりだった。でも、自分にはやるべきことがある。逆らうくらいなら、とりあえずやってみる。「そうすれば、必ず新しく見えてくるものがあると分かったんです」。

2

年程前からは、経理管理業務にも携わるようになった。「第二人は私よりも先に家業を手伝っていて、経験豊富です。でも会社の経理には携わっていませんでした。誰もや

らないなら、私がやるしかない。正直腰は重かったのですが（笑）、視野が広がりました。『やってみる』の大切さをあらためて感じましたね。」

幼

い頃から家づくりを見てきた中で、最近特に感じることがあるという。「若い世代のお客様が、安さと画一的な利便性を強く求める傾向にあるような気がします。しかし、日本の家は住む人の生活様式、土地の風土に合わせて造られてきた背景がある。それが、日本の家の個性であり、向き合い方でした。この仕事を通して、私は多くの人に日本の木の家と上手に向き合う方法を伝えたいですね。」

10年後の住宅業界を予想！

素材として「木」がもっと理解される世の中になってほしいです。最近「免震」「耐震」について語られることが多いですが、地震が起こっても、木の家はある程度のゆがみなら、自然に元の形に戻る復元力があります。なぜ日本の家は何千年も木で作られてきたのか、今一度見つめ直すべきだと思います。（矢口さん）

矢口さんの「やってみる」はこれからも続いていく。

企業が成長するカギは常識にとられないこと。挑戦し続ける優良企業からビジネスヒントを学びます。

FRONT RUNNER
先端企業に学ぶ

風通しの良いアイデアを育む



「100円クラブ」は屋外でのバーベキューになったり、近隣の料理店からコックさんを招くこともある。福利厚生、安全衛生など各委員会のメンバーが持ち回りで準備に当たる



物怖じせず積極的に発言する若手が多いのも伊藤工機の強み



定例会集では、損益の報告に加え、その期の MVP 社員を表彰

伊藤工機株式会社



代表取締役
内海 二郎さん

組織のパフォーマンスを高める「100円クラブ」

毎月第1水曜の定時後、社長や社員が分け隔てなくお酒を交えて語り合う。参加費は1人100円。だから「100円クラブ」。

ガス圧力調整器やバルブの製造・販売を手がける伊藤工機は、かれこれ25年ほど前から毎月、この催しを続けている。発起人は内海社長だ。「もともとはパートさんに主婦目線で」「こんな製品があったら

いいな」というアイデアを出してもらう場だったので、続けるうちに、それぞれの人柄や考え方がよく伝わってきたのと合わせて何でも話し合える雰囲気生まれた。これはいいと思い、全社的な取り組みに拡大しました」。

他愛もない話こそがいざ仕事の時に生きる

伊藤工機は「ガス業界のノーベル賞」と言われる日本ガス協会の技術大賞を2度も受賞した業界の雄。それだけに「100円クラブ」では、技術や今後の事業展開をめぐって、さぞ熱い議論が交わされているかと思いきや、「仕事の話をする社員はほとんどいませんよ(笑)」と内海社長。
「話題の大半が仕事に関係のない他愛もない話。でも、私はそれでいいと思っています。なぜなら日頃のコミュニケーションなくして、いざ仕事するとき、仲間と手

てみたらでよかった」という事後報告型の改善だ。

「提案書を作成し、上司にお伺いを立て、OKをもらってから実行するのは遅い。上司にある程度相談し、OKが出たら「すぐにやってみる」というのが当社の考え方。若手が臆することなくスピード感を持って提案できるのも、同社が日頃からコミュニケーションを大事にしているからこそだ。

つねに考え続けなかったら生き残っていけない

「私どものような中小企業は、社員一人ひとりがつねに新しい発想やアイデアを出し続けなかったら生き残っていきません」と内海社長は表情を引き締める。

「そんな会社になるには、社員一人ひとりの経営参画意識が必要で、何でも話し合えるムードが不可欠です。全員に経営情報を開示しているのも「100円クラブ」を続けているのもそのためです。とはいえ、どれほど会社が制度や仕組みを整えても、本人にその気になかったら意味はありません。何より問われるのは本人の問題意識であり、現状を改善するにはどうしたらいいかをどれだけ自分の頭で考えられるかです。『企業は人なり』。この言葉の意味を改めて噛みしめつつ、つねに考え続ける集団を目指していきたいと思えます」。

社員全員がネームプレートに自分の目標を明記

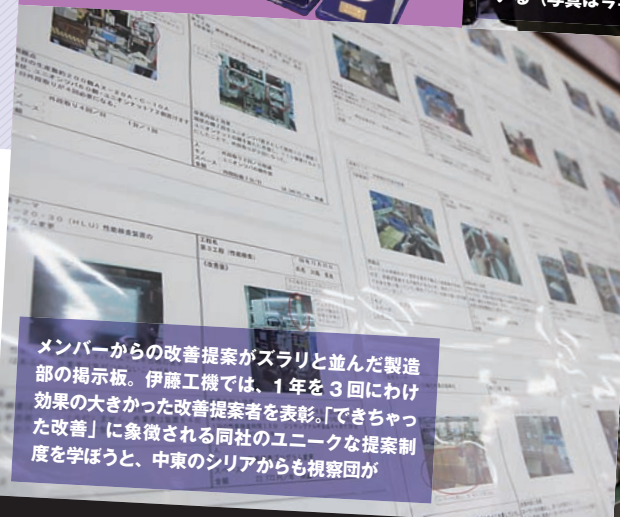


改善箇所はないか。常に目が光る

伊藤工機は、世界のカス関連企業が集う「世界LPG(液化石油ガス)フォーラム」に日本勢で唯一、毎年出展している(写真は今年スペインで開催された時の様子)



ガス業界でもっとも名誉ある日本ガス協会の技術大賞を受賞(08年度)した臨時ガス供給設備「PA-13A30N」。阪神淡路大震災や新潟県中越沖地震の際には、多くの被災者を支えた(右はこれまで授与された楯の一部)



メンバーからの改善提案がスラリと並んだ製造部の掲示板。伊藤工機では、1年を3回にわけ効果の大きかった改善提案者を表彰。「できちゃった改善」に象徴される同社のユニークな提案制度を学ぼうと、中東のシリアからも視察団が

伊藤工機に学ぶ「風通しの良い会社」

- 1 コミュニケーションを「常态化」する**
日常的にコミュニケーションを取っていなかったら、いざという時に結束は生まれない。上司や部下、部門を越えて話し合える雰囲気づくりを。
- 2 「情報共有」に本気で取り組む**
役員から一般事務員まで全員で情報を共有する場があるからこそ、危機感をわかち合える。誰もが集える場づくりを。
- 3 動き出しの「スピード」にこだわる**
アイデアが浮かんだら、まずはやってみる。手続きに時間をかけてはいけない。スピーディーに実行に移せる仕組みの構築を。

本社：大阪府東大阪市箱殿町10番4号
事業内容：ガス圧力調整器やバルブの製造・販売
代表者：内海 二郎
売上高：83.9億円(2010年10月期)
従業員数：266名
HP：http://www.itokoki.co.jp/



News pick up! 業界ニュース

住友林業が設計・施工 木造耐火3階建老人ホーム 「木のまち整備促進事業」に採択

住友林業が設計・施工を担当する「大田区矢口木造老人ホーム」が9月22日、国土交通省の「木のまち整備促進事業」のプロジェクトに採択された。

同事業は、木造建築物の整備を通じ、低炭素社会の実現に貢献するため、先導的な設計・加工技術を導入する大規模木造建築物の建設に対し、その費用の一部を補助するもの。同老人ホームはじめ計10プロジェクトが採択された。

同老人ホームは、東京23区では初のツーバイフォー工法による耐火構造3階建て有料老人ホーム。不燃木材により外装を木質化するほか、被覆系耐火構造ながら、内装にも積極的に国産の木製部材を活用。避難にも利用可能なバルコニーの設置など、高齢者施設として防災

計画に配慮した設計となっている。国は「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を施行。公共建築物はもとより民間の非住居建築事業などによる木材利用の促進とその市場拡大に注目が集まっている。

2011年3月に着工し、同年11月上旬に完成予定。



完成イメージパース

お問い合わせは、アセットソリューション事業部特殊木造開発チーム（TEL:03-3214-3800）まで。

「第5回住まいのバリアフリーコンペティション」 住友林業ホームテックの2作品が 優秀賞などを受賞

「第5回住まいのバリアフリーコンペティション」がこのほど開かれ、住友林業ホームテックの2作品が優秀賞と東京電力賞を受賞した。同コンペティションは、東京都住宅バリアフリー推進協議会が住まいのバリアフリー化を促進するため、2006年から毎年実施しているもの。

優秀賞を獲得したのは埼玉県A様邸。「車いすで快適な自立生活」とのコンセプト通り、車いすの息子さん生活しやすいようにスペースを十分確保した設計になっている点などが評価された。

東京電力賞を受賞した埼玉県T様邸は、築200年の日本家屋。高齢者家族の安全を考え、オール電化とし、生活空間を限定した点などが注目を集めた。

車いすでスムーズに家へ上がるよう段差を解消した玄関(左)。浴室の入り口を高くし、腰かけスペースを確保。車いすからの並行移動を可能にした(右)



埼玉県 A様邸

優秀賞

車いすのまま扉の開閉をしやすいように、トイレにはスライド式のドアを採用



埼玉県 T様邸

東京電力賞

Service close up! 新サービス紹介

家づくりのお役立ちサイト

JHOP スタート!
Japan Housing Open Platform

住友林業と NEC が協業する住宅関連業界向け

クラウドサービス「JHOP」が10月18日、オープン!

「JHOP (ジェイホップ)」とは?

家づくりに関連する業務システムをクラウドで

「JHOP」は、施主および住宅関連事業者向けに家づくりを支援するITサービス。家づくりの各プロセスに必要な意匠設計CAD、構造設計CAD、積算・実行予算システム、工程管理システムなどのサービスをインターネットでご提供します。

(「JHOP」に関する詳細は、本誌9月号をご覧ください)

無料! 簡易プランの作成CAD「JHOP CAD」を無料提供中。CADを使ったことがない方でも実にカンタン! 詳細および登録は <http://jhop.jp>

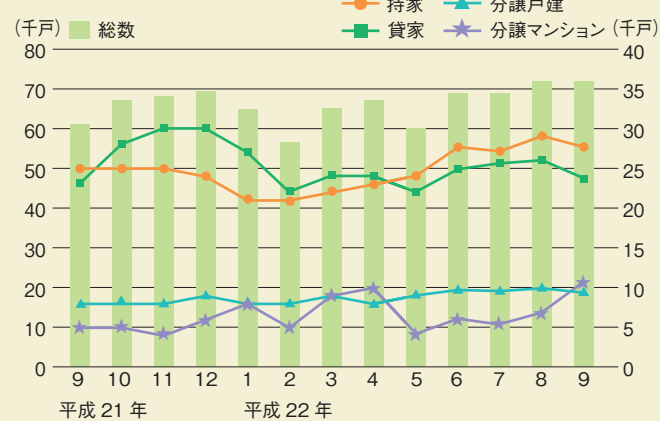




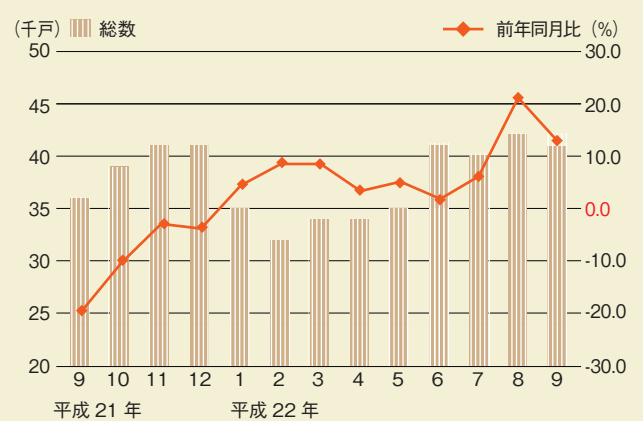
平成22年9月の新設住宅着工 △は減

		9月					8月	7月	6月
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		71,998	26	0.0	10,817	17.7	71,972	68,785	68,688
建築主別	公共	1,632	401	32.6	515	46.1	1,231	1,236	906
	民間	70,366	△375	△0.5	10,302	17.2	70,741	67,549	67,782
利用関係別	持家	27,670	△1,366	△4.7	3,169	12.9	29,036	27,181	27,656
	貸家	23,696	△2,196	△8.5	517	2.2	25,892	25,673	24,871
	給与住宅	565	109	23.9	△309	△35.4	456	730	456
	分譲住宅	20,067	3,479	21.0	7,440	58.9	16,588	15,201	15,705
資金別	民間資金	61,176	△191	△0.3	7,159	13.3	61,367	58,921	58,715
	公的資金	10,822	217	2.0	3,658	51.1	10,605	9,864	9,973
	公営住宅	1,168	49	4.4	334	40.0	1,119	940	636
	住宅金融機構融資住宅	5,482	△269	△4.7	2,098	62.0	5,751	5,193	5,287
	都市再生機構建設住宅	309	309	-	301	3762.5	0	0	34
	その他住宅	3,863	128	3.4	925	31.5	3,735	3,731	4,016
構造別	木造	41,141	△932	△2.2	4,731	13.0	42,073	40,045	40,748
	非木造	30,857	958	3.2	6,086	24.6	29,899	28,740	27,940
	鉄骨鉄筋コンクリート造	682	300	78.5	316	86.3	382	391	150
	鉄筋コンクリート造	17,837	1,357	8.2	5,173	40.8	16,480	15,773	14,304
	鉄骨造	12,226	△668	△5.2	567	4.9	12,894	12,471	13,345
	コンクリートブロック造	42	△45	△51.7	5	13.5	87	48	60
その他	70	14	25.0	25	55.6	56	57	81	

利用関係別戸数



構造別 木造戸数



プレハブ新設住宅戸数

構造別	戸	対前月比		対前年同月比		利用関係別	戸	対前月比		対前年同月比	
		(戸)	(%)	(戸)	(%)			(戸)	(%)	(戸)	(%)
合計	10,367	△676	△6.1	317	3.2	持家	4,580	△372	△7.5	367	8.7
木造	1,292	6	0.5	80	6.6	貸家	5,486	△136	△2.4	4	0.1
鉄筋コンクリート造	264	△87	△24.8	4	1.5	給与住宅	5	△53	△91.4	△13	△72.2
鉄骨造	8,811	△595	△6.3	233	2.7	分譲住宅	296	△115	△28.0	△41	△12.2

枠組壁工法 (ツーバイフォー) 新設住宅戸数

利用関係別	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅						
	戸	対前月比		戸	対前月比		戸	対前月比		戸	対前月比				
		(戸)	(%)		(戸)	(%)		(戸)	(%)		(戸)	(%)			
木造	8,749	205	2.4	2,658	△198	△6.9	4,770	412	9.5	3	5	62.5	1,318	△4	△0.3
		1,111	14.5		243	10.1		452	10.5		△24	△88.9		440	50.1



berry
システムキッチン ベリー

スクエア
タイプ-C
新発売

コンパクトな奥行75cmで 家族が自然に集まるオープンキッチン



いつも自然に連携プレイ。
ダブルアクセスが嬉しいプラン

キッチンを挟んで両側から使えるから、
料理も盛りつけもスムーズにおこなえます。



配膳や後片づけも
ダイニング側から手早くできる

ダイニングから手を伸ばせばすぐに届くから、
キッチンを回り込む必要がありません。



ダイニングとの一体感が
家族の距離を近づける

明るく開放的で、ほどよい大きさのオープン
キッチン。家族のコミュニケーションを深めます。

ヤマハリビングテック株式会社 〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370 TEL:053-485-1561

<http://www.yamaha-living.co.jp>



建材マンスリー-11
November 2010 No.542
昭和39年10月創刊 第48巻 平成22年11月1日発行 (毎月1日発行) 通巻542号
発行人/上山 英之 発行所/建材マンスリー編集部 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館7階) 電話 03-3214-3280
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部